日本ペタンク選手権大会の歴史と記録

　国内最高峰の舞台、日本ペタンク選手権大会の歴史を振り返ると、その対戦形式にいくつかの変遷があることが、ペタンクルールハンドブック巻末資料からわかります。

　古くは第１回と第３回でダブルス戦のみが行われ、第２回と第４回は逆にトリプルス戦のみが実施されているようです。

　第５回大会からはダブルス・トリプルス戦を同時開催、この５回大会及び６回大会において北海道が同時優勝しています。

　第２５回大会（埼玉県深谷市）では埼玉勢が初優勝を飾り（柴田つね・泉恵美子・石井重子組）、更に続いて第２６回大会から埼玉女子チーム（井上まち子・今泉君子・大澤廣美組）が、２７回・２８回と大会三連覇を達成します。２９回大会を挟んで、３０回大会から３２回大会まで再びの三連覇達成という驚異的な記録を樹立しました。（井上まち子・今泉君子・渡辺真由美組）。

　昨年第３３回長崎大会では男子が奮起して、埼玉チーム同士による決勝戦対決となりました。埼玉Ｃ（加藤英男・清水紀男・富岡道雄組）と埼玉Ａ（中村孝・宮城修一・森信介組）の対戦は埼玉Ｃが勝利して、念願の初優勝。残念ながら女子チームの四連覇達成はならず、第３位でした。

　そして元号が令和へと変わった今回の第３４回大会で、開催地秩父ペタンク連盟・会員構成のチームが男女同時優勝という奇蹟的な夢を実現させたことは、歴史的な快挙といえるでしょう。名実ともに「ペタンク日本一のまちへ」・・・これからも確かな歩みが続きます。

写真左上は埼玉女子Ｂ　　写真右上は埼玉男子Ｄ

写真左下は埼玉女子Ｆ　　写真右下は埼玉男子Ｆ

優勝した男女それぞれのチームは、来年度本大会へのシード権がありますので、令和２年１０月開催富山大会へは、それぞれ埼玉男子Ａ・女子Ａとして出場する予定です。

１９号

秩父ペタンク通信

秩父都市 内・外の ペタンク情報をより多く

特別号　令和元年十月十日発行
市連盟広報部　長谷川辰巳
文＆写真　大久保進　浅見恒夫

第三十四回日本ペタンク選手権で秩父勢が男女同時優勝　歴史に残る快挙達成

今井富美子選手
大久保まち子選手
高野環　女子キャプテン
大山会長
内田均　男子キャプテン
浅見恒夫選手
太幡菊男選手

５月１８・１９日の両日、深谷市天神グラウンドで開催された埼玉県代表選考会を経て、男子チームは昨年度長崎大会で優勝し本大会へのシード枠を持っているチームを含めると、７チーム、女子は６チームが出場権を獲得しましたが、このうち秩父ペタンク連盟会員は５チーム・１３名。１０月５・６日の両日に秩父市宮地グラウンドを会場とする、全国大会・本大会に出場しました。
また参加にあたり、９月１０日には市長表敬訪問も行われました。

高野環/今井富美子/大久保まち子
埼玉女子Ｂ　優勝
千島保子/高橋富美子/山中啓子
埼玉女子Ｆ　予選敗退
内田均/浅見恒夫/太幡菊男
埼玉男子Ｄ　優勝
新井文夫/水戸部忠平/飯島一男
埼玉男子Ｆ　第９位
市川重夫　埼玉男子Ｂ　予選敗退